

※申請者名：岐阜県農林水産物輸出促進協議会、品目：柿

1. 輸出における現状と課題

青果物のリーディングブランドである「柿」は、大ロットを確保するための通常ブランド農産物に加え、「天下富舞」という新たな高級ブランド農産物の生産が始まっている。「天下富舞」は令和5年の初セリでは2個で100万円で競り落とされるなど高級ブランド農産物として地位を確立しつつある。

本県は、岐阜産農産物のブランド力強化に関する協力覚書を締結したタイ大手食品卸「セントラルフードリテール社」や香港「YATA」で継続して柿の販売フェアを開催している。これらの国には韓国をはじめとする他国も農産物を輸出している。現地での競争に打ち勝つため、「セントラルフードリテール社」や「YATA」からは、高級志向の消費者をターゲットとしたオリジナルブランド農産物の導入を求められている。また本県は新たな高級ブランドとして積極的に国内展開を進めている柿の「天下富舞」(てんかふぶ)を有している。しかしながら、主力品種である富有柿と比べ日持ちが悪く船便輸送に適していないことや、現地での商品認知が十分に進んでいないことから小規模な輸出に留まっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- 1. 地域の関係者による輸出推進体制の組織化
- 2. 生産・流通体系の転換を通じた大規模輸出産地のモデル構築

(1) 生産体系の転換

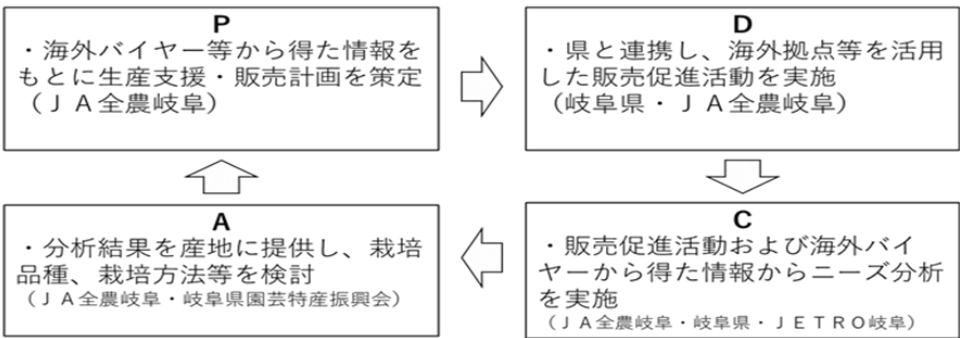
- ① 天下富舞の輸出量増大に向けた栽培技術の確立
- ② 春節向け富有柿の輸出量増大をめざした品質向上対策の確立

(2) 流通体系の転換

- ① 輸出に適した品質保持技術の確立
- ② 冷蔵柿のブランド化
令和6年度新たに糖度17度以上の冷蔵富有柿を「岐阜県プレミアム冷蔵柿(仮称)」としてブランド化する
- ③ 既存のブランド柿「天下富舞」のプロモーション
- ④ 海外での「天下富舞」商標登録

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【PDCAサイクル図】



4. 輸出目標額

輸出品目：柿		現状 (令和5年度)	目標年 (令和6年度)	備考
岐阜・西濃地区	輸出額(千円)	17,925	35,830	前年比200%
	輸出量(トン)	32	51	前年比159%
	輸出先国	タイ、香港	タイ、香港、シンガポール	
	取扱量(トン)	2,048	2,681	前年比131%